



2014 年度活動報告書

発行:2015 年 6 月

公益財団法人大阪YWCA 東日本大震災被災者支援チーム

2011 年 3 月に起こった東日本大震災。大阪YWCAは、直後からさまざまな被災者支援活動を行ってきました。

そして、被災後4年目となる2014年度。復興に関する報道もずいぶん減り、被災地から遠く離れた大阪では現地のようなすはわかりにくくなってきました。しかし、私たちの「大阪でできる支援の継続」という基本方針は変わらず、福島の子どもたちを大阪に招待する保養プログラム「大阪わいわいステイプログラム」や被災者支援の啓発活動を続けて来ました。

「大阪わいわいステイプログラム」では、参加者の大部分が初めて応募してくれた子で占められ、保養プログラムのニーズがいぜん高いことを実感しました。啓発活動では、チャリティコンサート「stand by you vol.3」を行い、新たに協力してくれるアーティストの方もおり、支援の輪の広がりをみせています。

さらには、阪神淡路大震災から20年となる2015年1月には、神戸でメモリアルイベントを行い、語り継ぐことの大切さを実感しました。

これらの活動は、助成金や多くの方々の募金、協力によって実現したものです。私たちは、この一年の支援活動を通して、たくさんの人たちと出会い、喜びを分かち合ってきました。このみんなの思いが少しでも東北のみなさんに届きますようにと願いつつ続けた、この一年の活動でした。

(大阪YWCA運営委員会東日本大震災被災者支援担当：平井佐津紀)



■大阪わいわいステイプログラム

被災地の子どもたちに外で思い切り遊んでもらいたい。そんな思いからはじまった「大阪わいわいステイプログラム」も今年で4年目となりました。夏は7名、春は10名の子どもたちを招待し、キャンプに大阪観光、水遊びと楽しいプログラムを満喫しました。

◇2014年8月◇

日程	主なプログラム	宿泊先
8/4 (月)	JR 福島駅に集合、新幹線で大阪に移動	こども館
8/5 (火)	おでかけプログラム ドリーム21 (東大阪市)	ホストファミリー宅
8/6 (水)	こども館プログラム 午前 近くの公園で水遊び 午後 ストーリーテリング、ミニコンサート、おやつ作り	ホストファミリー宅
8/7 (木)	おでかけプログラム 箕面の滝	ホストファミリー宅
8/8 (金)	夏キャンプ 「攻略!! びわ湖あそび」 水泳、キャンプファイヤー、ゲーム大会など	京都YMCA
8/9 (土)		サバエ教育キャンプ場
8/10 (日)		ホストファミリー宅
8/11 (月)	新大阪から福島へ新幹線で移動、JR 福島駅で解散	—

おでかけプログラム一日目には天気にも恵まれ、東花園の花園ラグビー場の近くにあるドリーム21に行きました。午前中に行った探検ひろばという所には、手をかざすだけで音が鳴るハーブや永久磁石などがあり、なぜだろうという疑問を持ちつつとても楽しく遊んでいました。午後からは、のびのび広場という所に行きました。のびのび広場は体育館の中にターザンロープや一輪車、大きなロケット滑り台などの遊具で遊べる場所です。ジャンプ台から飛び降りたり、ターザンロープで遊んだり、思いっきり身体を動かしてヘトヘトになっていました。



2日目のこども館プログラムでは、午前中は外で遊び午後からはシンセサイザー奏者のけんきちさんを招いて、こども館でコンサートをしてもらいました。音楽を真剣に聞き、いろんな音が出る事に面白いと感じていたのか、子どもたちは初めて見る楽器に興味津々で触らせてもらえるようになると、一斉に楽器に触れて音を出して楽しんでいました。



箕面の滝では、天気にも恵まれたので川で水遊びをしました。思い切って水遊びをあまりできなかったのが、ここぞとばかりに子どもたちは川で遊び、全身着替えないといけないう程ずぶ濡れになっていました。

夏キャンプは、大阪の子どもたちも一緒に琵琶湖畔のキャンプ場へ行きました。テーマは「水遊びをやりつくす」と「仲間づくり」です。大阪弁と福島弁が飛び交う、にぎやかなキャンプになりました。



大型台風の接近でキャンプの開催が危ぶまれましたが、1日目にはなんとか水遊びをすることができました。たたみ一畳ほどもあるウレタンマットにみんなで乗って遊びました。琵琶湖は湖とはいえ波があります。ウレタンマットに乗って漂ったり、マットの上から水中に飛び込んだり。学校のプールでは体験できない、豪快な自然の中の水遊びを満喫しました。

残念ながら台風の影響で、2日目はほぼ1日中雨でした。そんな悪天候でも、みんなには全然関係ありません。雨の中カッパを着てキャンプ場を歩き回り、ポイントハイクをしました。リーダーが作った難解な問題をグループで協力して解き、最終地点のポイントを見つけたときは大騒ぎをしていました。

グループ対抗のゲーム大会では、いかに他のグループより早くするか、みんな真剣そのものです。おかげでグループの仲間同士ずいぶん仲良くなりました。ゲーム大会だけではなく、みんなで協力して布団を敷いたり、部屋の掃除をしたり。食事当番では手分けをして配膳したり、食器を洗ったり。初めて会った子どもたちがリーダーのサポートのもと、協力して生活をともにすることで、お互いを認めあえる関係を作っていくことができました。



2日目夜には奇跡的に晴れ、キャンプファイヤーをすることができました。1日目の水遊びといい、夏キャンプらしいプログラムが一部でもできて本当によかったです。



このキャンプでは、普段の生活や学校ではできないわくわくの体験を、みんなと一緒にたくさん体験することができました。そして、新しい友達もできました。メンバーにも、リーダーにもとてもよい思い出がたくさんできました。来年の夏もまた会うことができたら、と思っています

◇2015年3月◇

日程	主なプログラム	宿泊先
3/25(水)	JR 福島駅に集合、新幹線で大阪に移動	こども館
3/26(木)	大阪観光 大阪城天守閣、お好み焼き、ギターコンサート	ホストファミリー宅
3/27(金)	野外遊び 万博公園	ホストファミリー宅
3/28(土)	春キャンプ「そとあその達人」 野外遊び、キャンプファイヤー、クラフト、野外料理	吹田市立自然体験交流センター(わくわくの郷)
3/29(日)		ホストファミリー宅
3/30(月)	新大阪から福島へ新幹線で移動、JR 福島駅で解散	—

26日は、皆で大阪城へ。シャロン千里から、天守閣へ向けて大移動です。とても良い天気だったので、途中暑さでバテてしまいそうな場面もありましたが、なんとか皆で揃って到着です。好奇心旺盛な子どもたちは、各々に天守閣内のスタンプラリーや展示に夢中。あっという間に集合時間だったのでは。

まだ色々見たい気持ちもありますが、そろそろお腹もすく頃。大阪城をあとにし、昼食は天満の商店街でお好み焼きをいただきました。大きい鉄板を前にして、楽しそうにはしゃぐ子どもたち。大人以上にたくさん食べる姿に驚かされました。それだけ、良い汗をかいた、ということでしょう。



さてよく動きお腹も満たされ、午後は一転、大阪YWCAで行われるギターコンサートへ。心地よい音色を聞きに行きました。とても小学生の奏者とは思えない立派な演奏。フィナーレには子どもたちから、花束贈呈もさせていただきました。

26日のプログラムはここまで。夕方からはホストファミリーにお世話になります。子どもたちは、ホストファミリーの方々に優しく迎えられ、各々の帰路につきました。

27日朝、シャロン千里に集まった子どもたちはまた元気いっぱい。昨晚、ホストファミリーのお家でしっかり休めたようです。自分の事は自分で出来ていたようで、「全然手がかからなかったよ」とおっしゃるホストファミリーもいらっしゃいました。



さて、今日は万博公園に出発です！モノレールに乗って、万博記念公園駅へ。太陽の塔が、だんだんと近づいてきます。万博公園に入ると、想像以上に広い公園にはしゃぐ一方で、ホストファミリーのお家が恋しくなったり、歩き疲れる場面もありました。しかし遊び場に着けば、『時間制限のある中で遊びつくす』子どもたちの集中力には感心させられます。



公園内では、『おもしろ自転車広場』で色々な乗り物を運転し、『学習館』で昆虫や自然のおもちゃに触れ、『ソラード』で空中散歩、『わくわく池の冒険広場』では大きなアスレチック遊具で遊びました。この日も天候に恵まれ、大きな公園で思う存分のびのびできたのではないのでしょうか。

集団行動も今日で3日目です。だんだんと距離も近まり、公園の帰り道では、高学年の子が低学年の子をおんぶしてあげたり、助け合う姿も見られ、順調に仲間との絆が深まっているようでした。さあ、明日からはキャンプです。この日も子どもたちは、まだまだ遊び足りない様子で、元気にホストファミリーのお家に帰ってゆきました。



春キャンプはそと遊びの達人を目指し、外遊びを満喫するキャンプとなりました。自然豊かな吹田市自然体験交流センターのなかで、大阪のメンバーと福島メンバーと一緒に1泊2日を過ごしました。

日中はメンバーに興味のあるものを選んでもらい、それぞれ、野山の探検、凧あげ、弓矢づくり、鬼ごっこ等の外遊び、おばけ屋敷づくりを、春日和のなか楽しみました。探検隊は秘密基地を作ったことを得意げに報告してくれました。凧あげはゆっくり時間をかけて作った自分の凧が上手くあがって嬉しそう。弓矢は、竹を削っての根気のいる作業でしたが、もくもくと熱中しているようでした。鬼ごっこ等のチームは汗だくになりながら、広い芝生を思い切り走り回りました。おばけ屋敷では創意工夫したおばけ達がみんなでメンバーを驚かせました。たっぷり時間を使ったプログラムは、メンバーの笑顔があふれていて、じっくりと外遊びを満喫してくれました。



夜はキャンプファイヤーを行いました。年長さんから小学校5年生までの幅広いメンバーで、ひとつの火を囲んで大声を出したり、歌ったり、踊ったり。仲間たちと夜の「外遊び」を体験しました。

メンバーがやりたいことを選んで挑戦したこのキャンプでは、ひとりひとりのペースで外遊びを楽しめたようでした。また、「それ、なに？」とお互いの凧や弓矢を見せ合って自慢しあう姿や、「すごいでしょ！」とリーダーに報告しに来てくれる姿から、自分自身で選んだ外遊びを存分にやりきってくれたのだと、嬉しく思います。最後には兄弟姉妹のように仲良しになっていたメンバーもいて、みんなすっかり「そと遊びの達人」になった春キャンプでした。



夏、春あわせて、ホストファミリー9家庭、ボランティア延べ153名のご協力をいただきました。本当にありがとうございました！



はるばるやってくる子どもたちを歓迎しようと、心のこもった夕食を準備。



すっかり仲良くなったホストファミリーと



■stand by you vol. 3

2014/9/27(土)18:00~21:00頃 会場: 雲州堂 来場者数: 29名

様々なボランティアとして大阪YWCAに関わってくださりすでに20年近くになる、シンセサイザー奏者「けんきち」さんの協力を得て2012年から開催しているstand by you。3回目である今回も、けんきちさんの呼びかけに応じて集まった3組のアーティストとけんきちさんによるライブ演奏、わいわいステイなど大阪YWCAの被災者支援活動紹介、物販を少し行いました。ライブチケットによる収益はすべて大阪YWCA被災者支援活動にご寄附いただきました。

けんきちさんは、「毎年1回は絶対にやりたい! 定例化する形も考えたい!」とvol. 2の時よりもさらに前向きな頼もしいアーティストです。2015年度も楽しみにお待ちしております。



参加アーティスト: 山本商店、Jan Voila、猫海月、けんきち 寄付額: 15,000円

■阪神淡路大震災20年メモリアル 「神戸を歩く~あした~につなぐ」

2015/1/17(土)13:00~17:00 参加: 12名

阪神淡路大震災から20年を迎えたこの日、今までのこと、これからのことを考えようと、神戸の街を歩きました。当日神戸はかなり多くの人出がありました。集合時刻に豪雨と強風に見舞われましたが、歩き始めると雨風はやみ、天気も味方してくれたようでした。震災当時の写真を片手に、撮影された場所をたどり、すべて徒歩で移動。歩くことで、当時の交通網も寸断されていたこと、今あるものはすべて当たり前の存在ではないことを実感して頂きたかったからです。壊れた建物が建て替わり、落ちてしまった鳥居は修復され、うねったままの波止場はそのまま保存・・・街の姿は変わっても、変わらないものもある。参加者それぞれが、様々な想いを胸に、今の神戸を歩きました。参加者は、震災時ボランティアをしていた人のほか、生まれたばかりで写真でしか知らない若い世代、4歳のお子さんもおられました。当時ここはこんな様子だった、水を節約するために何をしたかなど、具体的な話をしながら歩きました。途中、地元の方の話を聞くこともでき、語り継ぐことの大切さを感じました。



阪神淡路大震災を境に様々なことが変わりました。防災意識、ボランティア活動、人々の絆、地域社会— 様々な取組により、時代は前に進んでいます。でも20年たっても何年たっても忘れない。この想いは、東日本大震災に対しても同じです。何が求められているのか、自分たちにできることは何か、これからも常に考えながら活動を続けていきたいと思いを新たにした1日でした。

■街頭募金

2015/3/8(土)14:00~16:00 場所: JR大阪駅南、阪神百貨店西側 参加: 3名

毎年、3月11日に最も近い週末に行っています。記憶を呼び覚ましてもらうこと、忘れないでいてもらうこと。浄財を頂くことのほかにも、重要な意味があると改めて感じました。

募金額: 4,207円



2014 年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援活動にご寄付下さった皆様

□羽恵子、坂田道子、白井邦子、砂子興一郎、瀧本政子、堂鏡子、中島和子、
 藤原民恵、松田慶子、武藤恵美子、山高万寿子、山本宣子、匿名希望
 日本基督教団城北教会、日本基督教団甲東教会エリコの会、日本基督教団核問題連絡会、
 サワディープロジェクト、大阪YWCA千里委員会、大阪YWCA千里合唱団、
 千里クリスマス会参加者一同、千里委員会東北に思いを馳せるつどい、
 大阪YWCAクリスマスバザー実行委員会

この他、大阪YWCA設置の募金箱にも多数の募金を頂戴しました。ご協力ありがとうございました

◇2014 年度大阪YWCA東日本大震災被災者支援 収支決算◇

収 入		支 出	
助成金	1,300,000	旅費交通費 参加者・引率移動費等	779,310
寄付金	524,123	プログラム費 キャンプ参加費、食材等	496,996
プログラム収入	56,500	通信運搬費	16,102
前期からの繰り越し	405,879	消耗品費	12,487
		保険料	9,875
		事務局諸経費	544,927
		次期繰り越し	426,805
計	2,286,502	計	2,286,502

※助成金：公益財団法人日本生命財団、公益財団法人日本YWCA

公益財団法人 大阪YWCA

〒530-0026 大阪市北区神山町1-1-2

TEL (06) 6361-0838 FAX (06) 6361-2997

e-mail info@osaka.ywca.or.jp http://osaka.ywca.or.jp/